

MFJ 北海道エンデューロ選手権第4戦ヒーローレーシング大会 観戦レポート

(2019.09.01 夕張マウントレースイ)



夕張のマウントレースイで開催された“北海道エンデューロ選手権第4戦ヒーローレーシング大会”に行ってきました。

朝7時前に会場に着くと既に多くのトランポが到着していました。ピットは前日の雨でヌかるんだり水溜まりになったところもありましたが、前回の夕張のレースがクイが刺さらないほどカチンカチンで、土埃の中でのレースだったことを考えると、路面が程よく湿っている今回は、コンディショ的にまずまずではないかという感じを受けました。

今回のレースは早くも全道戦6戦のうちの4戦目となります。残りのレースは今月開催されるHTDE(日高・ツーデイズ・エンデューロ)と来月のルスツ戦の2戦のみ。しかも両レースともオンタイム制なので、早着・遅着を気にせずにガチンコ勝負をしたい選手にとっては、今年最後のレースになりました。

設定されたコースは、第2戦目の夕張の時と全く同じ。出場総数も69台と前回とほぼ同じで、IAクラスが2台、IBクラスが13台、NAクラスが6台、NBクラスが31台、Bクラスが4台、Cクラスが9台、市販車ク

ラスが3台となっていました。

今回、個人的に興味を持っていたのは、一つ目はIA昇格枠（1枠）を争うIBクラスの154佐藤選手・100前田選手の対決。二つ目はIB昇格枠（3枠）のNAクラスに、330伊藤選手と329中江選手に続く3番手として誰が昇格枠に絡んでくるのか。三つ目はNAへの昇格枠（6枠）のNBクラスの行方。四つ目はCクラスで連勝を続けている672竹内選手と2連敗を期している653山本選手との対決でした。

■ 受付・車検・開会式の様子

いつものようにスケジュールどおり朝8時から受付・車検が始まり、そのあと開会式とブリーフィングが行われました。



(↑受付)



(↑車検)



(↑前川名誉大会長のあいさつ)



(↑伊藤大会長のあいさつ)



■レースの様様

9時に承認クラスのB・C・市販車クラスが一齐にスタートしました。



承認クラスの後、10時55分からIA~NBクラスによる2時間30分の決勝レースがスタートしました。今回はスタート地点から場所を変えて、スタート直後の直線コースでカメラを構えていました。1番手で姿を現したのはゼッケン100番の前田選手でした。



次々とライダーが団子状態で走って来るのを見ながら、撮影場所を変えたおかげで、いつもとは異なった新鮮な感じを受けることが出来ました。公認クラスのスピードはやっぱり迫力がありますね。



一通りスタート直後の写真を撮ったあと、ウッズに移動したのですが、いつまで待っても選手達がやって来る気配がありません。おまけに雨が降ってくるし、このままだと風邪を引いてしまうので、様子を見がてらピットに戻って、カッパを着ることにしました。



ピットに戻る途中、スタート直後にアクシデントがあり、レースがいったん中止になったとの話を聞きました。

車まで戻ってカッパに着替えようとしたら、ものすごい雨が降ってきて、まさにゲリラ豪雨状態。しかも自分たちの上だけ雨雲で、半分から向こう側は青空天気です。

体全体がドロドロなので、車のシートに座るわけにもいかず、しばらく車のリアゲートの下で雨宿りをしていたら、だんだん小雨になり、まもなくレースを再開するとのアナウンスがありました。

そうと聞けばオチオチしてられません。

早速バイクにまたがり、ウッズの中でカメラを構えました。

12時を過ぎた頃、約1時間遅れで75分間のレースが再開されました。

ドドドドという音とともに1番手のライダーが現れました。誰だろうとファインダーを覗いていたら、またしても100前田選手でした。

■レースの概要

● IB クラスは前田選手が優勝！



個人的には最も興味のあるこのクラス。

今回は100前田選手が154佐藤選手の3連勝を阻んで、前回・前々回の雪辱を果たしました。前田選手はスタート直後の走りを見ていても相当気合いが入っている感じを受けました。あとで話を聞くと、中止になった1周を回ったおかげで腕上がりがほぐれて、再開後のレースではかなり楽になったと話していました。一方、僅か45秒差で前田選手に敗れた佐藤選手は、出来ればもう少しレース時間が欲しかった・・・と話していました。

チョットしたミスや、1分足らずの給油の時間の中でさえ順位が入れ替わるほど、気を抜けないレース展開が行われるこのクラスには、とても驚いてしまいます。

また3位には165源治選手が入賞しました。源治選手は、4年前にJEC選のSUGOのEDに出ていたのを見て以来、最近ではレースの主催者あるいはスタッフの姿しか見ていなかったの、レース後のドロドロの姿を見たときは、マーシャルの手伝いをやっていたんだらうとばかり思っていました。表彰式で源治選手の名前が出てビックリ。まじ選手で出ていたんですね！。いきなり参加して堂々の3位。すごいです。お見それしました(^)ほかの選手の成績は、4位が125宮崎選手、5位が144竹内選手、6位が162大友選手でした。

注目の IA 昇格枠（1 枠）を目指したポイント争いですが、現時点でのトップは 154 佐藤選手（94P）、2 番手は 11 ポイント差で 110 前田選手（83P）、3 番手は 125 宮崎選手（68P）が上がってきました。このあとの HTDE では、佐藤選手がスタッフに専念すると宣言しているので、前田選手と宮崎選手が、全国の相手と戦って最終戦までにどれだけポイントを稼ぐのが楽しみになってきました。お二人には是非とも頑張ってくださいたいですね。

●NA クラスは高校生の伊藤選手が優勝！



330 伊藤選手はやっぱり速いですね。総合優勝はタッチの差で逃したものの、今回も 1 周 11 分 6 秒のベストラップを記録しました。今回は同じ NA クラスで、前回負けた 329 中江選手にも 3 分以上の差をつけての優勝です。レースの終盤では IB クラスの 100 前田選手の後ろにピッタリくっついて走っていたので、あのあと最後まで抜けなかったのかと聞いたら、隙を見て前に出ようと様子を探っていたら、それを前田選手に感づかれて、直線で一気に離され、わずかに 10 秒弱の差で負けてしまったとか・・・。

このクラスのポイントランキングは、1 番手が伊藤選手（97P）、2 番手が中江選手（91P）と、両者の差はわずかに 6 ポイント。次のレースは HTDE なのですが、伊藤選手はまだ高校生で、バイクの免許を持っていないので、公道レースには出られません。もし中江選手が HTDE で 6 ポイントを獲得すれば、ルスツで行われる最終戦の前に伊藤選手と同ポイントで並ぶことが出来ます。また仮の話として、もう少し頑張って 10 ポイントを獲得すれば、最終戦で伊藤選手に負けても、ポイント数で 1 番手になる可能性が出てきます。勝負は時の運なのでどこでどうなるかわかりませんが、次のレースの行方を楽しむネタとして非常に興味をそそられます。

さて、来年の IB 昇格ですが、このまま順当に進めば、伊藤選手、中江選手の二人はほぼ確実な感じになってきました。それではこの二人に交じって最後の昇格枠を獲得するのは誰なのでしょう？

(↓329 中江選手)



(↓318 清水選手)



3番手の333佐藤選手と4番手の343小林選手は並んで67ポイント、5番手は318清水選手(66P)、今回レースを欠場した304小山選手(54P)は6番手になりました。3番手と6番手のポイント差は13ポイントですが、3番手と5番手の差はわずか1ポイントしかありません。またこの4人のうち佐藤選手、清水選手、小山選手の3人はHTDEにエントリーしていますので、日高での成績が最終戦を迎えるまでにどのように影響してくるのか、今後のレース展開がとても楽しくなってきました。

●NB クラスは小熊選手が初優勝！



第1戦、第2戦を制した飯田選手の欠場により、今回は誰が優勝するのか気になるこのクラス。エントリー総数31台という最も多いこのクラスの中で優勝したのは、490小熊選手でした。小熊選手はハードエンデューロのG-NETにも参加しており、先月行われたHIDAKA ROCKSを規定時間内に完走した23人の強者の中の一人です。今季の参加は前回のルツス選からですが、前回も6位に入賞し、ポイントランキングでも10番手に上がってきました。

2位は477 田崎選手、3位は439 梅田選手、前回優勝した334 北谷選手はパンクが災いし、今回は4位でした。



ポイントランキングの状況は、1番手が445 北谷選手 (73P)、2番手が477 田崎選手 (69P)、3番手が474 山下選手 (66P)、4番手が447 松山選手 (63P)、5番手が460 渋谷選手 (60P)、6番手が424 鈴木選手 (54P)、7番手が482 飯田選手 (50P)、8番手が439 梅田選手 (42P)、9番手が451 齋藤選手 (41P)、10番手が490 小熊選手 (40P) となっています。

1番手と10番手のポイント差は33ポイントありますが、NAへの昇格枠は6枠なので、今後のレース展開ではまだまだ予断は許されません。特に次回のHTDEには、2番手の田崎選手、3番手の山下選手、7番手の飯田選手、10番手の小熊選手がエントリーしていますので、これらの選手が上位に入賞し、ポイントを獲得すると、ルスの最終戦の前に順位が入れ替わることが予想されます。HTDEに参加される選手の皆さんの活躍がとても楽しみです(^^)

●Bクラスは石川選手が負け知らずの3連勝



今回のレースでは、ヒーローレーシング大会の常連となっている601 石川選手が優勝し、3連勝を飾りました。

現在のところ敵無しといったところです。

2位は614 大森選手、3位は604 前野選手でした。

●Cクラスの竹内選手も3連勝！

Cクラスの672 竹内選手も前回・前々回に引き続き優勝し3連勝しました。

一方、第1戦で優勝し、2戦目・3戦目を竹内選手に押さえられていた653 山本選手は、今回こそ優勝を・・・と気合いを入れて臨んだ4戦目でしたが、願いは叶わず、今回も2位となりました。レースの開始前にチームの皆さんから聞いた話では、山本選手が「今回優勝できなかつたらチーム員みんなに昼飯をおごる」という約束になっているという話をしていたので、その後、約束がしっかり果たされたのかどうかがとても気になります(^^)



(672 竹内選手)



(653 山本選手)

両者とも HTDE にはエントリーされていないので、残すところは第 6 戦のルスツ戦のみ。例年と同じであればルスツ戦はオンタイム制で開催されるので、よほどの荒天でルートが荒れない限りは、牧草上の S S でのタイムが勝敗を左右します。両者とも最後までチャンピオンを目指して頑張っていたくださいね。

3 位は 669 矢野選手、4 位は初出場の 677 鈴木選手、5 位は 654 青田選手、6 位は 657 村井選手でした。なお村井選手は今レース唯一の女性入賞者で前回に引き続いての入賞です。



スキー場の下りで写真を撮っていたら、開けっぴりの良い村井選手の 2ST ミニモトのエンジン全開音が、ビ〜ン・ビン・ビン・ビ〜い〜ン〜と山全体に甲高く鳴り響いていたのがとても印象的でした。

これからもレディースパワーでどんどんレースを盛り上げてほしいですね。

(←657 村井選手)

●市販車クラス



市販車クラスは 3 台が参加し、702 竹村選手が前回に引き続いて優勝しました。

2 位も前回と同じ 706 高橋選手、3 位は初出場の 711 兼古選手でした。

●表彰式の模様（紙面スペースの関係で掲載は順不同です。）

・IB クラス（写真右から1位～6位）



162 大友選手 144 竹内選手 125 宮崎選手 165 源治選手 154 佐藤選手 110 前田選手

・NB クラス（写真右から1位～10位）



466 澤渡 480 齋藤 478 菊池 424 鈴木 474 山下 460 渋谷 445 北谷 439 梅田 477 田崎 490 小熊

・NA クラス (写真右から1位~6位)



331 伊原選手 343 小林選手 333 佐藤選手 318 清水選手 329 中江選手 330 伊藤選手

・B クラス (写真左から1位~2位)



601 石川選手 614 森選手 604 前野選手 (不在)

・市販車クラス (写真右から1位~3位)



711 兼古選手 706 高橋選手 702 竹村選手

・IA クラス(22 柴田選手)



・C クラス (写真右から1位~6位)



657 村井選手 654 青田選手 677 鈴木選手 669 矢野選手 653 山本選手 672 竹内選手

●特別賞 (YAMAHA)



●特別賞 (ミカホスポーツ)



●じゃんけん大会





次回は9月14日(土)～15日(日)に「北海道エンデューロ選手権 第5戦(日高ツーデイズエンデューロ(併催))」が、日高で開催されます。皆さん、次回もまた会場でお会いしましょうね...(^)

BY 2か

●2かのフォトギャラリー

全体：<https://photos.app.goo.gl/iiogUbkPnqvXTiVV9>

セレクト：<https://photos.app.goo.gl/a3pmJYLxz7zyWFPg7>

●リザルト

https://speedhive.mylaps.com/ja/Events/1719086?fbclid=IwAR2ecrhXWnFTdcya3UfXXd7NxBe6JaP_yKY7cEiBufDCnfvMEWv_jdfx0RI

●MFJ 北海道 ED ポイントランキング

https://www.jmpsa.or.jp/prg_img2/pdf/pdf2019090209400042076600.pdf?fbclid=IwAR00hQQPwHjg6mMMJq_c_SMGqZMMp5Q5EKjQSrsq9wAjMzV67KlxUEDYvxyQ

●北海道エンデューロ選手権第5戦(日高ツーデイズエンデューロ(併催))

<https://jecpromotion.com/>